

令和元年7月吉日

各都道府県教育委員会教育長 殿
各都道府県国語教育研究団体長 殿
各 高 等 学 校 長 殿
各 校 国 語 科 教 諭 殿

全国高等学校国語教育研究連合会（全国連）
会 長 佐藤 和彦（東京都立広尾高等学校長）
全国連第52回研究大会鹿児島大会
実行委員長 山崎 巧（鹿児島県立錦江湾高等学校長）

全国高等学校国語教育研究連合会 第52回 研究大会 鹿児島大会 兼 第63回 九州地区高等学校国語教育研究大会 《最終案内》

令和元年度全国高等学校国語教育研究連合会第52回研究大会（第63回九州地区高等学校国語教育研究大会）は、下記要項に従い、鹿児島市の中心に位置する宝山ホール（鹿児島県文化センター）を会場として開催します。

本大会は、これまでの大会と異なり、開会行事から閉会行事までの二日間を一会場で実施し、九州各県の実践発表を、全参加者で共有する形で行います。これからの社会変化や高大接続改革を背景に、次世代の国語力の担う役割として求められる「情報を編集・操作する力、そしてそれを的確に構造化・言語化する力」を育むことを目指した、十二本の実践・研究発表から、理論や実情を踏まえた国語教育の課題について、ともに議論したいと思えます。また、池谷裕二氏、海堂尊氏による記念講演、文部科学省大滝一登視学官による講話から、大いなる示唆をいただきたいと思えます。全体会終了後は、ご希望により、鹿児島県下3校による公開授業と、知覧特攻平和記念会館を中心とした文学研修にご案内いたします。

「何ができたのか」というコンピテンシーベースの言語能力を重視し、実社会や実生活で生きて働く国語力の育成、将来の言語文化の担い手の育成を目指し、鹿児島大会の主題といたしました。新しい元号で初めて行われる本大会に参加される皆様を、薩摩流に清新の気風で、厚くお迎えしたいと思います。どうかたくさんの方々に御来県いただき、御助言いただきますようお願い申し上げます。

鹿児島大会開催要項

大会主題 **新しい時代や社会に通用する言語能力の育成**
—コンピテンシーベースの高校国語力の可能性—

主催	全国高等学校国語教育研究連合会 九州地区高等学校国語教育研究協議会 鹿児島県高等学校教育研究会国語部会
後援	文部科学省・九州各県教育委員会・鹿児島県教育委員会 鹿児島市教育委員会・鹿児島県連合校長協会 鹿児島県私立中学高等学校協会 公益財団法人日本教育公務員弘済会鹿児島支部
期日	令和元年10月24日（木）・25日（金）
日程	第1日 全体会（開会行事・文部科学省講話・記念講演Ⅰ・九州各県研究発表・教育懇談会） 第2日 全体会（九州各県研究発表・記念講演Ⅱ・閉会行事）・公開授業3校及び文学歴史研修
会場	宝山ホール（鹿児島県文化センター） 鹿児島市山下町5-3 公開授業：鹿児島市内の高等学校3校 文学歴史研修：南九州市 知覧特攻平和会館
参加費 資料代	7,000円（参加費 3,000円 資料代 4,000円） ※九州・県内は別途案内

1日目 10月24日(木)

9:00	9:50	10:00	10:30	10:40	11:40	12:50	13:00	14:10	14:20	16:50	17:05	18:00	18:30	20:30
受付	開会行事	文部科学省講話	昼食休憩	記念講演Ⅰ	研究発表	指導助言	教育懇談会受付	教育懇談会						

- ・ 開会行事
- ・ 文部科学省講話 演題 「高大接続と新指導要領」
講師 大滝 一登 氏 (文部科学省初等中等教育局視学官)
- ・ 記念講演Ⅰ 演題 「脳とことば」
講師 池谷 裕二 氏
- ・ 九州各県研究発表 7人
- ・ 教育懇談会 ホテルパレスイン鹿児島

2日目 10月25日(金)

8:30	9:00	10:50	11:05	11:15	12:25	12:30	13:00	13:55	14:45	15:35
受付	研究発表	指導助言	休息	記念講演Ⅱ	閉会行事	昼食	公開授業 受付・移動	公開授業		
						13:00~17:30	文学・歴史研修 (受付・昼食・移動)			

- ・ 九州各県研究発表 5人
- ・ 記念講演Ⅱ 演題 「文学・映像・言葉」
講師 海堂 尊 氏
- ・ 閉会行事

※以下は希望者参加となります。(要事前申込)

- 公開授業
 - ・ 鹿児島県立鶴丸高等学校 (15:00~15:50)
 - ・ 鹿児島市立鹿児島玉龍中学校・鹿児島玉龍高等学校
 - ・ 学校法人原田学園 鹿児島情報高等学校
- 文学・歴史研修 知覧特攻平和会館 見学 1コース



※文学・歴史研修についての問い合わせ先

第52回研究大会 鹿児島大会 サポート事務局 株式会社 CSS (担当：原川) Tel. 099-298-1511 E-mail. 52kagoshima@css-kyushu.jp

鹿児島大会事務局

〒890-0022 鹿児島市小野町 3175 番地
鹿児島県立武岡台高等学校内 事務局長 井手尾 法子
E-mail. ideo-noriko@edu.pref.kagoshima.jp Tel. 099-281-5233 Fax. 099-281-5244

- ・ 大会前日(10月23日)に、九高国会長・事務局長会議及び全国代表者会議・情報交換会を予定しております。
- ・ 九州大会の通例に倣い、大会要項には参加者名簿を掲載させていただきます。ご了承ください。

記念講演Ⅰ

演題 「脳とことば」

講師

いけがや ゆうじ
池谷 裕二 氏

(脳科学者、東京大学薬学部教授)

1970年生まれ。1998年に東京大学にて薬学博士号を取得。2002~2005年にコロンビア大学（米ニューヨーク）に留学をはさみ、2014年より現職（東京大学薬学部教授）。専門分野は神経生理学で、脳の健康について探究している。また、2018年よりERATO脳AI融合プロジェクトの代表を務め、AIチップの脳移植によって新たな知能の開拓を目指している。文部科学大臣表彰 若手科学者賞（2008年）、日本学術振興会賞（2013年）、日本学士院学術奨励賞（2013年）などを受賞。著書に『海馬』『記憶力を強くする』『進化しすぎた脳』などがある。



記念講演Ⅱ

演題 「文学・映像・言葉」

講師

かいどう たける
海堂 尊 氏

(作家、医師)

1961年千葉県生まれ。千葉大学医学部卒業。同大学院修了。放射線医学総合研究所・重粒子医科学センター病院臨床検査室医長時の2006年「チーム・バチスタの栄光」が第四回「このミステリーがすごい!大賞受賞」し、作家デビュー。同シリーズは映画化、ドラマ化され累計1千万部突破。2008年、同センターAi情報研究推進室室長兼任、2012年同院退職。現在は放射線医学総合病院研究協力員。著書、映像化作品多数。2018年TBS日曜劇場で「ブラックペアン」がドラマ化。2019年現在、刊行総部数は1750万部。近刊は「フィデル誕生」（文藝春秋）、「氷獄」（KADOKAWA）。



研究発表概要 1 日目

学校名	鹿児島県立武岡台高等学校	氏名	北 宜義 教諭	領域	読むこと
研究題目	伝統的な言語文化に関する理解を深めさせるとともに伝え合う喜びを味わわせる指導～学習内容を深く理解し、生涯学び続けることのできる生徒の育成を目指して～				
概要	本実践の特徴は、三年間の系統的指導観に基づき、「身近な伝統的な言語文化」への深い理解を促す主体的・対話的学習活動を組織し、我が国の「伝統的な言語文化」への関心を高めさせ、生涯にわたって学びに向かおうとする態度を育成することを目指した点にある。				

学校名	熊本県立八代清流高等学校	氏名	上加世田 瑛司 教諭	領域	読むこと
研究題目	複数素材を通じた論理構造の把握と意図の解釈				
概要	「読むこと」の領域に関し、1年生を対象に「文章を正確に読み取るための論理構造の把握」を目指した。2年生では、評論教材で論理構造を確認したうえで、別素材も使用して情報を関連づけながら、書き手の意図を解釈する。				

学校名	鹿児島県立甲南高等学校	氏名	櫻木 賢一 教諭	領域	話すこと・聞くこと
研究題目	主体的に聞くことの指導				
概要	「聞く力」には想像力が不可欠だ！「話すこと」が苦手な高校生は、「主体的に聞くこと」に不十分さがあると考え、「話す」に隠れがちな「聞く」に焦点化し、主体的・想像的に聞く力の育成を目的とした実践の報告である。				

学校名	長崎県立大村高等学校	氏名	福嶋 昭典 教諭	領域	書くこと
研究題目	この話がおもしろい ～作品の魅力紹介と読みへの誘いの試み～				
概要	主体的な学びの授業を目指して古典作品の魅力を他者へ紹介するという学習を試みた。「聞く・読む」ことを通して理解を深めるという従来の古典学習から脱却し、「話す・書く」ことを通して表現力を身につけることを目標とした。				

学校名	福岡県立門司学園高等学校	氏名	波多野 郁子 教諭	領域	読むこと
研究題目	読むことで「伝え合う力」を高める取組 ～プレゼンテーション・CM制作をとおして～				
概要	現代文B『山月記』・古典B『伊勢物語』を題材とし、作品を「読むこと」をとおして、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。				

学校名	ラ・サール高等学校	氏名	西本 志織 教諭	領域	書くこと
研究題目	抽象的な語彙を生きて働くものとするための書くことの授業実践				
概要	高校1年生の語感を磨き、語彙を豊かにするための授業実践である。日常生活では馴染みが薄い抽象的な語彙を、生徒たちはどのようにしたら「生きて働く自分のもの」にできるのか。実際の学習活動とその成果について報告する。				

学校名	沖縄県立那覇国際高等学校	氏名	上原 瞬 教諭	領域	話すこと・聞くこと
研究題目	Sustainable Development GOALS（持続可能な開発目標）を通して「自立」と「協働」を学ぶための活動実践 —ICT活用による「話すこと・聞くこと」の時数確保に向けて—				
概要	「話すこと・聞くこと」の実践に向けて、ICT活用によりその時数確保に取り組んだ。国連が定めた17のSDGsと教材を関連させ、持続可能な開発に向けて生徒が「自分」の力で考え、「協働」学習により問題解決に向けて話し合う活動を実践した。				

研究発表概要 2日目

学校名	鹿児島県立鹿児島工業高等学校	氏名	木下 景介 教諭	領域	書くこと
研究題目	構造的な視点から論述を指導することについての研究と実践				
概要	「論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめる資質・能力」を伸ばすために「書くこと」の領域で研究及び実践を行った。構造的な視点で論述指導を行うことで文章を俯瞰させようという取組である。主に1学年と3学年で実践を行った。				
学校名	宮崎県立宮崎商業高等学校	氏名	藤崎 正二 教諭	領域	話すこと・聞くこと
研究題目	他者のことばを受けとめる力を育む〈短歌甲子園〉の授業実践				
概要	短歌ディベートを題材に、他者のことばを受けとめ、自分の意見との共通点や相違点を判断する力、的確に質問し、表現の独自性や良さを見抜く鑑賞力、よりよい表現を目指して多様な意見を述べられる批評力を育む授業実践。				
学校名	大分県立大分舞鶴高等学校	氏名	小坂 吏香 教諭	領域	書くこと
研究題目	新聞を通して考える 社会と自分 一思考力・判断力・表現力の育成を目指したNIEの実践—				
概要	社会への関心や自己の進路目標の具体化に対する認識を高め、思考力・判断力・表現力の向上を図るために、新聞を活用した授業やその他の取り組みを行っている。今回、「話す・聞く」「書く」の力の育成を目指した実践の報告を行う。				
学校名	鹿児島県立加治木高等学校	氏名	鮫島 裕之 教諭	領域	読むこと
研究題目	漢詩に描かれた心情を複数教材で読み味わわせる指導				
概要	今後は正解よりも納得解が求められるがゆえ、主体的・対話的で深い学びが授業に期待されている。漢詩の授業における複数教材は作品の比較による思考の活性化を促し、鑑賞を通してテーマに迫る装置になると考えた。				
学校名	佐賀県立唐津東高等学校	氏名	山下 康孝 教諭	領域	書くこと
研究題目	大学入学共通テストに向けての佐賀県の取り組み				
概要	県教委主催の研究会において、6名の研究委員で、平成29年11月実施の大学入学共通テストのプレテストを分析し、特に記述問題である第1問に対応できる資質・能力を養うための授業設計および指導方法について研究を行った。				

教育懇談会の御案内

日時

令和元年 10月24日 困
大会1日目 18:30~20:30 (受付 18:00~)

会費

6,500円

会場

ホテルパレスイン鹿児島 2F 孔雀の間
〒892-0845 鹿児島県鹿児島市樋之口町 8-2
Tel. 099-223-1111
大会会場(宝山ホール)より車で5分、徒歩15分

オープニングレセプション

独唱 『九州うためぐり』

宮原 真紀 (鹿児島県立種子島高等学校 音楽科教諭)

プロフィール

東京学芸大学卒業。
平成10年度文部科学省教員海外派遣研修、アメリカにて研修。鹿児島オペラ協会、シャンテブリュー会員。
鹿児島オペラ協会30周年記念公演「ミスターシンデレラ」伊集院薫、定期公演「カルメン」カルメン、「魔笛」夜の女王、「フィガロの結婚」伯爵夫人、「ヘンゼルとグレーテル」魔女など多くの公演に出演。

『鹿児島食と名酒の宴 = 5Mの会 =』

鹿児島島の郷土料理とともに、いわゆる幻の3M(魔王・森伊蔵・村尾)に、名酒「萬膳・三岳」も加え、「5Mの会」と称しました。

今回は九州大会でもありますので、沖縄等からフルーツやジュースと、九州各地の銘菓も取り寄せ、飲める人も飲めない人も鹿児島島の夜を楽しんでいただけます!

公開授業校

鹿児島県立鶴丸高等学校

今年度創立125周年を迎え、建学の理念「好学愛知」「自律敬愛」「質実剛健」、校是「For Others」の下、生涯にわたり学び続ける態度を備え、国際社会に貢献しようという意欲に満ちた生徒の育成を目指す。各学年は普通科8クラス。

担当学級	科目	授業者	単元・教材
1年	国語総合	宮脇 健一 教諭	漢文 大修館「国語総合改訂版」 六 孔子と孟子の思想
2年	現代文B	坪内 真吾 教諭	評論 第一学習社「高等学校改訂版現代文B」 四「集合知」という考え方 (五 トランス・サイエンスの時代)
3年	古典B	武富 幸司 教諭	物語(一) 筑摩書房「古典B古文編改訂版」 源氏物語(二) 車争ひ



鹿児島玉龍中学校・鹿児島玉龍高等学校

創立79年の鹿児島玉龍高等学校と、平成18年に併設された鹿児島玉龍中学校が一体となった中高一貫教育校。薩摩藩時代の名刹「玉龍山福昌寺」跡に建つ校舎で、約1,000名の生徒が真の文武両道、行学一体を目指して学んでいる。

担当学級	科目	授業者	単元・教材
高等学校 1年	国語総合	山之口輝美 教諭	歌物語 東京書籍「精選国語総合」 『伊勢物語』
中学校 3年	国語	山下 志保 教諭	古典に学ぶ 三省堂「現代の国語」 和歌の世界・万葉集・古今和歌集・新古今和歌集



学校法人原田学園 鹿児島情報高等学校

昭和30年創立、今年度64年目を迎える。e-プレップ科、プレップ科、普通科、マルチメディア科、情報システム科、自動車工、メカトロニクス科、情報処理科、医療福祉科を設置する。校訓「誠実・勤勉・責任・礼儀・友愛」の下、科学的知識と技術を習得し、社会に貢献する有能な人材の育成を目指す。

担当学級	科目	授業者	単元・教材
1年 マルチメディア科	国語総合	山口 将和 教諭	故事 故事成語を現代に生かそう
3年 情報システム科 特進コース	現代文B	水之浦加奈 教諭	実用な文章 第一学習社「現代文B」 基本情報技術者試験テキスト他



※人数限定(要事前申込・先着順)

無料シャトルバスでご案内いたします。シャトルバス以外では参加いただけませんので、公開授業参観希望の方は、必ずバスへの乗車をお願いいたします。

無料シャトルバス
のご案内

行き

宝山ホール発	
鶴丸高校行き	13:55 発 14:30 発
玉龍中・高校行き	14:10 発
情報高校行き	14:00 発

帰り

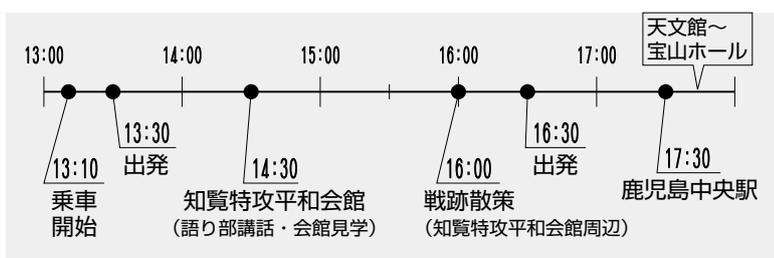
鶴丸高校発	
鹿児島中央駅行き	16:10 発
天文館経由宝山ホール	16:40 発
玉龍中・高校発	
宝山ホール～天文館 経由鹿児島中央駅行き	15:55 発

情報高校発

鹿児島中央駅～天文館 経由宝山ホール行き	15:55 発
-------------------------	---------

文学・歴史研修

戦争の歴史に出会えるまち、知覧 ～知覧特攻平和会館と戦跡巡り～



※道路事情等により、到着が遅れる場合がございます。ご了承ください。



知覧特攻平和会館は、第二次世界大戦時の特攻隊についての資料や隊員の遺品を所蔵しており、当時の記録を後世に残し、平和を祈念する目的で、かつて出撃基地があった地に設立された博物館です。館内では、地元知覧町出身の語り部が特攻の歴史的背景と特攻隊員の遺書・手紙等の特色について解説いたします。

その後、会館周辺にある戦争遺跡をガイドが案内いたします。

※人数限定(要事前申込・先着順)

※参加費:3,000円(交通費・昼食・入館料込)

全国高等学校国語教育研究連合会第52回研究大会鹿児島大会

申込みの御案内

謹啓 皆様方には益々御清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、「全国高等学校国語教育研究連合会第52回研究大会鹿児島大会」が開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

さて、全国各地より大会に参加されます皆様方の便宜をお図りするため、大会参加ならびに懇親会・宿泊等のお世話を(株)近畿日本ツーリスト九州鹿児島支店にてお取扱させていただきますことになりました。

つきましては、申込方法を下記のとおり御案内申し上げます。皆様方のお越しを心よりお待ちしております。 謹白

(株)近畿日本ツーリスト九州鹿児島支店 支店長 田代 修

本大会ではインターネット受付システム(大会登録サイト)を利用しております。

◆参加申込(大会参加・公開授業・文学歴史研修・懇談会)

◆宿泊申込 ◆弁当申込

上記項目のお申込及び支払い方法の選択はインターネット上で行います。以下に手順を御案内いたします。

I. 参加申込の御案内 利用開始日：7月19日(金)0時00分開始

1. 参加申込の流れ

パソコンをご利用の方：以下のURLにアクセスいただき、大会参加登録を行ってください。
<http://www.kntk.co.jp/ec/2019/kokugo52/>



スマートフォンを御利用の方：右のQRコードを読み込んでアクセスしていただき、大会参加登録を行ってください。

- ① 専用ホームページの「新規お申込はこちら」から入っていただき、「お申込連絡担当者情報」を御入力ください。
※お申込連絡担当者は参加者に限りません。
- ② 続いて「参加者情報」を御入力ください。「参加申込」「公開授業・文学研修」「懇談会」「宿泊」「弁当」など御希望の事項を登録してください。
※「宿泊」「公開授業・文学研修」は定員制になっており、定員に達すると申し込みなくなりますので、お早めに御登録ください。
- ③ 参加登録が完了しましたら、『申込内容確認画面』に表示されている内容をご確認いただき、「ご利用料金」へ進みます。
- ④ ご利用料金をご確認いただき「個人情報のお取扱いについて」「約款」を確認の上、「同意する」にチェックを入れ支払方法の選択へ進みます。
- ⑤ 下記のお支払い方法から御選択いただきお支払いください。
 - 1) 銀行振込：画面の御案内にしたがって、記載されている口座にお振込ください。(振 hands 手数料はお客様負担となります)
 - 2) クレジットカード決済：画面の御案内にしたがってお手続きください。

以上で参加登録は完了です。(御登録のメールアドレスに登録完了のメールが届きます)

大会参加登録締切 令和元年9月15日(日) 23:59

2. 大会参加費について

7,000円(参加費3,000円+資料代4,000円)

(九州圏内参加者 5,000円(参加費1,000円+資料代4,000円))

(鹿児島県内参加者 2,000円(参加費1,000円+資料代1,000円))

大会参加費等支払締切 令和元年9月29日(日) 23:59

※お支払い完了後、弊社より参加確認書をご郵送いたします。当日受付にご持参いただきますようお願いいたします。

3. 領収証について

大会参加費、懇談会参加費、文学歴史研修費の領収証は、ご依頼のある参加者に大会受付時間帯にお渡しさせていただきます。当日お受け取り、もしくは受け取りが出来なかった場合のみ、後日ご郵送と致します。領収書発行依頼書は、参加確認書と同封いたします。

4. 公開授業・文学歴史研修について

第2日目(10月25日)に開催予定の公開授業、文学研修参加ご希望の方は、会場及び運営の都合上、事前にいずれかを選んで御予約ください。会場ごとに定員が設定されております。

- ・公開授業のシャトルバスは無料です。シャトルバス乗車をもって受付となります。
- ・文学、歴史研修参加費：3,000円(入館料・弁当代込)

先着順の受付となり、定員に達した場合はお申し込み出来なくなります。お早めに御登録ください。

※文学研修の企画・実施内容については、下記にお問合せをお願い致します。

【株式会社CSS 担当：原川 TEL：099-298-1511 / FAX：099-298-1512】

5. 教育懇談会について

第1日目(10月24日) 18時00分～受付開始 / 開催時間18時30分～20時30分

◆参加費 6,500円 会場：ホテルパレスイン鹿児島(2F孔雀の間)

※大会参加費等登録締切後の変更や取り消しには応じられません。

II. 宿泊・弁当申込の御案内

1. 参加申込と同様に、御宿泊も大会登録サイトにてお申し込みください。

10月24日(木)の宿泊につきまして、下記ホテルを御用意させていただいております。料金その他の詳細については大会登録サイトにて御確認いただけます。先着順での受付となりますので、御希望の方はお早めにご登録ください。

地区	ホテル名	アクセス
天文館周辺	鹿児島ワシントンホテルプラザ	宝山ホールからタクシー約 5分 / 市電で約 7分
	アイホテル鹿児島	宝山ホールからタクシー約 5分 / 市電で約 7分
	レム鹿児島	宝山ホールからタクシー約 7分 / 市電で約 10分
鹿児島中央駅周辺	ホテルタイセイアネックス	宝山ホールからタクシー約 10分 / 市電で約 15分
	ホテルアービック鹿児島	宝山ホールからタクシー約 12分 / 市電で約 15分

2. 参加申込と同様に、弁当(大会1日目：10月24日分・大会2日目：10月25日分)も登録サイトにてお申し込みください。

弁当代：1,000円(税込) *お茶付き

受け渡し場所や時間については、大会受付時にご案内させていただきます。

当日、ご不明な場合は大会ツアーデスクまでお尋ねください。

※文学研修にはお弁当がございません。弁当申し込み登録は不要です。

(宿泊は(株)近畿日本ツーリスト九州鹿児島支店が企画・実施する募集型企画旅行です。)

(弁当は(株)近畿日本ツーリスト九州鹿児島支店が企画・実施する手配型企画旅行です。)

※変更・取消は大会登録サイト内マイページより操作してください。トラブル防止の為、電話での変更・取消はお受け出来ません。

※キャンセル料の規定等につきましては、大会登録サイトにて御確認ください。

宿泊・弁当申込締切 令和元年9月15日(日) 23:59

III. 個人情報について

当社は今回の大会参加申込の際にいただいた個人情報について、お客様との間の連絡に利用させていただくほか、お申込みいただいた宿泊・運送機関等の提供するサービス受領のための手続きに必要な範囲内でのみ利用させていただきます。また大会事務局に提出いたします。それ以外の目的で利用することはございません。個人情報の管理には当社は個人情報保護方針に基づき適切な体制で臨んでおります。

IV. 問合せ・申込み先

旅行企画・実施 (一社)日本旅行業協会正会員 ポンド保証会員 観光庁長官登録旅行業第1886号

株式会社近畿日本ツーリスト九州鹿児島支店

「全国高等学校国語教育研究連合会第52回研究大会鹿児島大会」係

〒892-0828 鹿児島県鹿児島市金生町4-10 アーバンスクエア鹿児島ビル3階

TEL：099-223-3205 FAX：099-239-8159 E-mail：kagoshima@or.kntk.co.jp

受付担当：深堀・梅田・草本・デスクサポートチーム 受付時間：月～金 9:30～17:15(土・日曜・祝日は休業)

総合旅行業務取扱管理者：田代 修

※総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行契約に関しご不明な点があれば、ご連絡なく上記の取扱管理者にお尋ねください。